

# 大雪に備える

大雪により、雪崩の危険や道路や鉄道の通行止めなど日常生活に支障をきたすこともあります。除雪作業や雪下ろし作業に伴う事故によるケガなどが最も多く発生しています。特に最近では、高齢者による除雪作業中の事故が増えていますので、事故防止をしっかりととして、除雪作業を行うようにしましょう。

**屋根からの転落**

- 屋根の上で足を滑らして転落
- 屋根の上の雪が滑り落ちてきてバランスを崩して転落
- 落ちた場所は積雪がなく、地面、アスファルト、コンクリートが露出していたため、被害の程度が増大した
- 気温が暖かく、屋根の雪が滑りやすくなっていた
- 命綱、ヘルメットをしていなかった

**屋根からの落雪**

- 軒下で除雪中に落雪で埋まる、落雪が直撃する
- 気温が暖かく、屋根雪が緩み出すときに軒下に近づいた
- 落雪式屋根からの落雪が危険大

**水路等への転落**

- 玄関先の流雪溝にスコップで投雪中、流雪溝内に転落
- 流雪溝に取り付けてある転落防止柵が外してあった

**除雪機の事故**

- 除雪機のエンジンを止めず、雪詰まりを取り除こうとしたため、体の一部が巻き込まれる
- 約7割が40代、50代など高齢者以外の比較的若い世代

**除雪に伴う発症**

- 除雪作業中に急に座り込んで倒れ(心肺停止)、救急搬送される
- 体調などに無理や油断があった

**はしごからの転落**

- はしごの足が滑って、はしごといっしょに転落
- はしごから屋根に移動するときに転落
- はしごの上から雪庇を落としていてバランスを崩し転落
- はしごを固定していなかった
- 足場を除雪してしたあとで、地面が露出していた
- 命綱、ヘルメットをしていなかった

## 雪崩の種類と発生しやすい時期

雪崩には表層雪崩と全層雪崩があります。

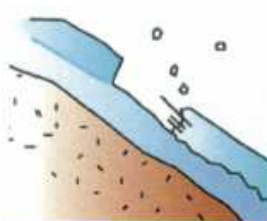
◆表層雪崩は厳冬期、全層雪崩は春先に発生しやすい

### ①表層雪崩

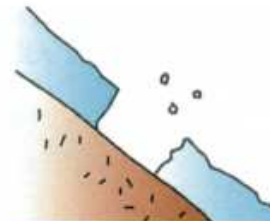
- ・ 既にある積雪上に短時間で多量の降雪があったとき
- ・ 0度以下の気温が続き、吹雪や強風が伴うとき
- ・ 雪庇(せっぴ)や吹きだまりが斜面にできているとき

### ②全層雪崩

- ・ 春先、降雨後やフェーン現象などにより気温が上昇したとき
- ・ 斜面に、雪しわ、ひび及びこぶができているなどの前兆現象が現れているとき



①表層雪崩



②全層雪崩

## 広告

各種焼瓦(和瓦・洋瓦)、屋根工事請負  
屋根板金工事、土木工事

**一般建設業・産業廃棄物収集運搬**

**有限会社ハシバ建設**

糸魚川市中宿502-1  
TEL 025-555-4455 FAX 025-555-3408  
E-mail hashiba.kensetsu@sky.plala.or.jp

一般建設業許可 新潟県知事許可(般-28)第45188号 産業廃棄物収集運搬許可

**株式会社 みどり福祉サービス**

訪問介護事業所みどり 1571500766  
居宅介護支援事業所みどり 1571500758

糸魚川市一の宮2丁目8-19  
TEL 025-550-0055 FAX 025-550-0056  
E-mail midori.fukushi@jade.plala.or.jp